

教科名： C#1、2（演習）		通期	教科担任：梅津 隆雄(実務経験教員)		
学科名： 情報システム科		コース：	2年		単位数： 4単位
授業のねらい		SE・PGとしての実務経験を生かし、VisualStudioC#を使ったウィンドウズプログラミング技法を習得する			前期 後期 合計 4H×15W = 60H 4H×15W = 60H 120H
目指す検定・資格		VisualC#2017逆引き大全 レバーファイル			教材費 ¥3,500
テキスト・教材					
評価方法		試験・課題			その他
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点 実時数
1	labelとtextBoxの利用	labelの設定と利用法、textBoxの設定と利用法を理解させる			それぞれの違いについて理解させる 8
2	数値と文字列	数値と文字列の違いと変換方法について理解させる			メソッドの利用法について理解させる 8
3	分岐型の記述法	多分岐型まで理解させる			基本的な記述法について理解させる 8
4	ループ型の記述法	forとwhileを使った記述法を利用する			基本的な記述法について理解させる 8
5	多重ループの利用	forとwhileを使った入れ子の記述法を理解させる			入れ子の考え方を理解させる 8
6	配列の利用	一次元配列の定義と基本的な考え方について理解させる			言語独自の定義法について理解させる 8
7	コントロール配列	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			オブジェクトを配列として扱う方法について理解させる 8
8	乱数の利用	乱数の発生と利用法について理解させる			いくつかの利用法をあげて理解させる 8
9	radioButtonとGroupBoxの利用	radioButtonとGroupBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる 8
10	listBoxの利用	checkBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる 8
11	checkBoxの利用	listBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる 8
12	comboBoxの利用	comboBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる 8
13	timerの利用	timerの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる 8
14	pictureBoxの利用	pictureBoxの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる 8
15	imageListの利用とデータ登録	imageListの特徴と利用法について理解させる			基本的な利用法について理解させる 8
その他	単元ごとに実習課題を課す				

教科名：プログラミング演習1、2(演習)		前期/後期	教科担任：奥田裕之（実務経験教員）		
学科名：AI・情報システム科		コース：	1年	単位数：4単位	
授業のねらい		SE・PGとしての実務経験を生かし、フローチャート作成の基礎およびコーディングの基本的な技法を習得する。		前期 4H×15W = 60H 後期 4H×15W = 60H 合計 120H	
目指す検定・資格				教材費 ¥3,300	
テキスト・教材		疑似言語で学ぶアルゴリズム テンプレート フローチャート用方眼紙			
評価方法		前期 試験・課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	アルゴリズムとフローチャート	アルゴリズムとフローチャートの関連を理解させる		テンプレートの使用法について留意する	8
2	領域の概念とプログラミング	領域の概念と変数について理解させ、簡単なプログラミングを行う		領域と変数との関連を理解させる	8
3	四則演算と出力	変数を利用した四則演算と結果の出力方法について理解させる		四則演算の記述法と出力方法を理解させる	8
4	順次型のアルゴリズム	順次型アルゴリズムの基礎と代表的なアルゴリズムを理解させる		変数の内容を入れ換えるルゴリズムを理解させる	8
5	選択型アルゴリズムの基礎	選択型アルゴリズムの基礎と比較演算子を理解させる		比較演算子の種類と違いについて理解させる	8
6	選択型アルゴリズムの入れ子	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ		複雑な構造のアルゴリズム記述法について理解させる	8
7	論理演算子を利用した選択型アルゴリズム	複合演算の考え方と対応した論理演算子の記述法を理解させる		論理和、論理積、否定論理和、否定論理積の理解	8
8	剰余演算子の利用	剰余を求める演算子の利用法について理解させる		いくつかの利用法をあげて理解させる	8
9	反復型アルゴリズムの基礎	反復型アルゴリズムの基礎と記述法を理解させる		基本的な記述法について理解させる	8
10	合計や平均を求めるアルゴリズム	合計や平均を求めるアルゴリズムにおける重要ポイントを理解させる		初期化、演算、結果の出力を理解させる	8
11	複数データの入力処理	データ件数が未確定な入力処理のアルゴリズムを理解させる		基本形を理解させる	8
12	最大値と最小値	複数データにおける最大値と最小値を求めるアルゴリズムについて理解させる		初期値設定方法に留意する	8
13	配列の考え方	一次元配列の定義と基本的な考え方について理解させる		変数との違いを認識させる	8
14	配列内のデータ利用	最大値や最小値、合計や平均を求めるアルゴリズムを理解させる		配列への初期値の設定法について理解させる	8
15	配列へのデータ入力	配列へのデータ登録と利用法について理解させる		データの入力法について理解させる	8
その他	単元ごとに実習課題を課す。				

教科名： 広告論1.2(講義)			前期 後期		教科担任：外塚 誠（実務経験教員）		
学科名：ICTクリエイト科			コース：全コース			1年	単位数：2単位
授業のねらい		デザイン事務所経営の実績を活かし、広告の在り方について指導する。私たちが日常的に目にする広告の意図と表現の読みかた、またそこで使われる広告デザインの原理やテクニックを学び、演習を通じて広告デザインを自分の手で実践してみることでその理解を深める。				前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格						教材費	
テキスト・教材							
評価方法		前期 課題 後期 課題				その他	
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	身のまわりにある広告	日常生活で目にする広告に注目しよう				日常で目にする広告とそこで用いられるデザインに興味を持ってもらう	2
2	広告デザインの収集	広告をクリップしてみよう				自分が気に入った広告の収集を通じて、その成り立ちへの興味を深める	2
3	写真とデザインの意図	デザインの意図を写真を通じて学ぶ				トリミングや写真レイアウトから「意味のコントロール」の存在を知る	2
4	デザインにおける配色の仕組みとルール	デザインにおける配色の仕組みとルールと通じてその効果を知る				配色の仕組みとバランスによって伝達される意味の違いを学ぶ	2
5	デザインにおける配色の演習	学習した配色の仕組みとルールを使って、実際にさまざまな配色を試みる				色の組み合わせとイメージの強い関連に興味を持ってもらう	2
6	書体（フォント）について	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ				フォントが伝える印象の違いやデザインへの影響の大きさを学ぶ	2
7	欧文書体を知る1	欧文フォント使ったデザイン演習1				実際のデザイン制作を通じてフォントによる伝わる印象の違いを学ぶ	2
8	欧文書体を知る2	欧文フォントを使ったデザイン演習2				実際のデザイン制作を通じてフォントによる伝わる印象の違いを学ぶ	2
9	和文書体を知る1	和文フォントを使ったデザイン演習1				フォントが与える印象とともに和文書体に独特の仕組みを学ぶ	2
10	和文書体を知る2	和文フォントを使ったデザイン演習2				フォントが与える印象とともに和文書体に独特の仕組みを学ぶ	2
11	広告のコンセプト	広告の意図、コンセプトを読む				主に写真と色、書体から広告のコンセプトを読み取れることを学ぶ	2
12	デザインの基本原則	デザインの四原則（コントラスト、反復、整列、近接）の概要				デザインされた情報は四原則に則っていることを知る	2
13	デザインの四原則を使った演習1	コントラスト、反復、整列、近接を念頭に置いたデザイン				情報の整理や配置によってデザインの精度を上げられることを学ぶ	2
14	デザインの四原則を使った演習2	コントラスト、反復、整列、近接を念頭に置いたデザイン				情報の整理や配置によってデザインの精度を上げられることを学ぶ	2
15	色の基本原則1	色相、彩度、明度について（マンセル表色系）				色相、彩度、明度といった色彩が持つ要素と意味を理解する	2

16	色の基本原則2	与えられたテーマに沿った配色を多くのパターンで表現する演習	色相、彩度、明度のバランスによる与える印象の違いを学ぶ	2
17	グリッド	グリッドデザイン&ノングリッドデザインについて	デザインの意図とグリッドの有無による効果の違いを学ぶ	2
18	グリッドデザイン&ノングリッドデザイン演習	同じテーマでグリッド&ノングリッドの2種をデザイン	実際の作業を通じて2種のデザインのそれぞれの特徴を学ぶ	2
19	黄金比	黄金比の仕組みについて	普段目にするものの中にも黄金比がいくつも存在することを知る	2
20	視認性	メディアによるデザインの視認性の違い	デザインのサイズ感や距離による見えかたの違いを学ぶ	2
21	レイアウト基礎	レイアウトのルールと基礎	デザイン意図に即したレイアウトの方法を学ぶ	2
22	レイアウト演習	サンプルを使いながらレイアウト制作	レイアウト制作とともにデザイン四原則やグリッドの復習も	2
23	デザインバリエーション	ひとつのテーマに対するデザインバリエーションの提案	制作現場で求められる解決としてのデザインはひとつではないことを知る	2
24	デザインバリエーション演習1	実際にデザインのバリエーションを作ってみよう	コンセプトの理解、書体や配色といったこれまで学んだ知識を活かしながら制作	2
25	デザインバリエーション演習2	実際にデザインのバリエーションを作ってみよう	コンセプトの理解、書体や配色といったこれまで学んだ知識を活かしながら制作	2
26	身体感覚と広告	あらためて日常の中の広告を見直す	広告がおかれた環境、時間軸などからその影響と効果を知る	2
27	広告のリデザイン1	好きな広告、気になる広告をリデザインしてみよう	リデザインを通じてこれまでの学習内容を振り返る	2
28	広告のリデザイン2	好きな広告、気になる広告をリデザインしてみよう	リデザインを通じてこれまでの学習内容を振り返る	2
29	広告制作の実際1	広告制作の現場について	仕事上のコミュニケーションやスケジュールの立てかたなどを学ぶ	2
30	広告制作の実際2	広告制作の現場について	実際の制作現場で起きる問題とその対処法について知る	2
その他				

教科名： ポートフォリオ作成1（実習）			後期		教科担任：外塚 誠（実務経験教員）	
学科名：ICTクリエイト科			コース：全コース		1年	単位数：1単位
授業のねらい		デザイン事務所経営の実績を活かし、クリエイティブ業界の就職活動などに必要となるポートフォリオ制作を指導する。採用において大きな意味を持つポートフォリオの制作をソフトの基本操作の習得とともに行う。またポートフォリオ制作のみならず、収録作品の量と質を上げるため、後期は自由制作とそのブラッシュアップに注力する。			後期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材						
評価方法		課題（ポートフォリオの完成）			その他	
時数	単元	授業内容（細目）				
1	ポートフォリオとは何か	ポートフォリオの意味と必要性			ポートフォリオが必要になる局面を具体的に知ってもらう	1
2	ポートフォリオ誌面のルール	統一性と一貫性があるポートフォリオ制作			判型、版面、レイアウト、書体など誌面づくりに必要な要素を学ぶ	1
3	レイアウト演習1	ポートフォリオの本文レイアウト制作			ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン&レイアウトを知る	1
4	レイアウト演習2	ポートフォリオの本文レイアウト制作			ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン&レイアウトを知る	1
5	構成とコンセプト	自分のポートフォリオの構成とコンセプトを決める			あらためて「ポートフォリオの意味と必要性」と向き合い考えさせる	1
6	本文フォーマットの決定	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			実際の作品を落とし込んで具体的にイメージしながら進めさせる	1
7	装丁のデザイン1	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
8	装丁のデザイン2	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
9	>装丁のデザイン3	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
10	ポートフォリオ制作1	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
11	ポートフォリオ制作2	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
12	ポートフォリオ制作3	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
13	作品解説とキャプション1	作品の解説とキャプションを書く			文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1
14	作品解説とキャプション2	作品の解説とキャプションを書く			文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1
15	ポートフォリオの印刷とデータ化	ポートフォリオを印刷する場合、データ化する場合、それぞれの方法を学ぶ			目的にあったポートフォリオの出力方法を知る	1

16	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
17	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
18	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
19	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
20	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
21	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
22	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
23	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
24	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
25	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
26	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
27	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
28	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
29	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
30	まとめ	収録された作品を振り返り、就職活動に向け必要に応じてブラッシュアップ	自身のポートフォ見直し、修正や調整が必要な部分は手を加えていく	1
その他				

教科名：ポートフォリオ作成2（実習）			前期	教科担任：外塚 誠（実務経験教員）		
学科名：ICTクリエイト科			コース：全コース		2年	単位数：1単位
授業のねらい		デザイン事務所経営の実績を活かし、クリエイティブ業界の就職活動などに必要となるポートフォリオ制作を指導する。採用において大きな意味を持つポートフォリオの制作をソフトの基本操作の習得とともに行う。またポートフォリオ制作のみならず、収録作品の量と質を上げるため、後期は自由制作とそのブラッシュアップに注力する。			前期 合計	2H×15W = 30H 30H
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		デザイン・クリエイティブ業界を目指す人のためのポートフォリオ見本帳MdN編集部				
評価方法		前期 課題 後期 課題（ポートフォリオの完成）			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	ポートフォリオとは何か	ポートフォリオの意味と必要性			ポートフォリオが必要になる局面を具体的に知ってもらう	1
2	ポートフォリオ誌面のルール	統一性と一貫性があるポートフォリオ制作			判型、版面、レイアウト、書体など誌面づくりに必要な要素を学ぶ	1
3	レイアウト演習1	ポートフォリオの本文レイアウト制作			ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン＆レイアウトを知る	1
4	レイアウト演習2	ポートフォリオの本文レイアウト制作			ポートフォリオであることを念頭に、サンプルを用いて効果的なデザイン＆レイアウトを知る	1
5	構成とコンセプト	自分のポートフォリオの構成とコンセプトを決める			あらためて「ポートフォリオの意味と必要性」と向き合い考えさせる	1
6	本文フォーマットの決定	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			実際の作品を落とし込んで具体的にイメージしながら進めさせる	1
7	装丁のデザイン1	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
8	装丁のデザイン2	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
9	＞装丁のデザイン3	表紙まわり＝装丁をデザインする			ポートフォリオの顔となる部分をどう表現するか、慎重に考えさせる	1
10	ポートフォリオ制作1	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
11	ポートフォリオ制作2	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
12	ポートフォリオ制作3	実際にある自分の作品をレイアウト			作品のデジタル化についても学ぶ	1
13	作品解説とキャプション1	作品の解説とキャプションを書く			文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1
14	作品解説とキャプション2	作品の解説とキャプションを書く			文章で伝える情報を整理しながら執筆させること	1
15	ポートフォリオの印刷とデータ化	ポートフォリオを印刷する場合、データ化する場合、それぞれの方法を学ぶ			目的にあったポートフォリオの出力方法を知る	1

16	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
17	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
18	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
19	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
20	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
21	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
22	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
23	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
24	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
25	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
26	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
27	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
28	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
29	収録作品の制作と整理	作品のポートフォリオ収録への作業	ポートフォリオの厚みを持たせるために、コンペ応募など自由制作	1
30	まとめ	収録された作品を振り返り、就職活動に向け必要に応じてブラッシュアップ	自身のポートフォリオ見直し、修正や調整が必要な部分は手を加えていく	1
その他				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 建築環境工学2（講義）			通期	教科担任：矢萩 東邦（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		建築環境工学が建築設計にどのように活かされ、また建築物を取り巻く外界状況（都市・地球環境）について理解・習得する。		前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 二級建築士		教材費		
テキスト・教材		二級建築士新体系テキスト「計画」,新体系問題集「計画」 初学者の建築講座「建築環境工学」（第三版）				
評価方法		前期 試験 後期 試験		その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	室内環境	温熱要素について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
2		温熱指標について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
3		空気線図について（空気線図の使い方）			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
4		空気線図について（飽和水蒸気量、飽和水蒸気圧力 他）			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
5		広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
6	換気	自然換気について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
7		機械換気について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
8		必要換気量について（換気量の計算）			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
9	伝熱・結露	熱の移動について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
10		壁体の伝熱について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
11		伝熱の指標について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
12		伝熱計算について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
13		結露現象について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
14		結露対策について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
15		断熱性と熱容量について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

教科名： 都市デザイン2（講義）			通期	教科担任：山本 幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科			コース：		1年	単位数： 4単位
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、人々が生活する場である街という概念を理解し、その街を作り上げる要素を理解することで、より良い都市のデザインにつなげる。			前期 4H×15W = 60H 後期 4H×15W = 60H 合計 120H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		プリント・専門雑誌等				
評価方法		前期 課題 後期 課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	都市とは何か 街とは何か 都市と建築			都市とは単に人が集まり生活を行うものなのか。 都市の機能とは	4
2	街を構成するものの練習	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ 街並みとは 街並みを構成するものとは レポート			フィールドワークを通して自分の住む街を再確認する 街並みという考え方を理解する	12
3	空間	街を構成する大きな空間 空間と人の流れ 空間心理学			街を構成するスケールとは 街における空間の認識	8
4	歴史的街並み	歴史的街並みの実例研究 街並み保全の取り組みについて			歴史的景観の美しさを認識し、街並みの特徴を考える。	8
5	日本の街並み	日本における歴史的街並み 通り 政治・経済・宗教			色々な街並みを調査研究し、それぞれの特徴・美しさを考える 政治経済宗教による街並み	8
6	各国の街並み	西洋における街並み 広場、通り、 政治・経済・宗教			欧米、アジアの街並みの特徴を調べ、それぞれの特徴を捉える	12
7	近代における街並み	近代の街並みデザイン 現代日本の街並みデザイン			近代での街並みのデザインとそのコンセプトを調べ、人々の行動を考える	8
8	都市計画	都市計画とは 都市計画の考え方			都市計画とは何か 都市計画の用語 考え方を学ぶ	12
9	外構と街	外構と街並み 外構設計			建築物の外構とは その意味と利用方法	12
10	地域における街並みの見学	山形における街並みの構成見学 レポート			各自の調査対象を決め街並みを研究し、まとめ、発表する。	12
11	都市と人	都市と人の関係、街と人の関係 都市における人の流れ			都市間の人の流れ 街と街とのつながり	8
12	都市の未来	各国・日本における新しい都市デザインの在り方とは			新しい街並みの構成とは 現在の都市計画の流れと人の動きを考える	12
13	予備	演習等			補講	4
その他						

教科名：ネイチャークラフト（実習）			前期	教科担任： 齋藤 美英（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科		コース：		2年	単位数： 2単位		
授業のねらい		工具類を使い幅広くハンドクラフトを学び、技術を身に付ける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	30,000円	
テキスト・教材							
評価方法		前期： 試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	クラフトの説明	材料、用具の説明 染色のための用具説明			クラフトの楽しさを知る。		2
2	クラフトの説明	材料、用具の説明 染色のための用具説明			クラフトの楽しさを知る。		2
3	アガパンサスコサージュ	染料説明 広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			同じ染料でも染める布によって変わることも覚える		2
4	アガパンサスコサージュ	染料説明 染色の仕方			希望色を作れるようにする		2
5	カトレアの枝物	絞りの飛騨の入れ方 着色			ガーゼのハンカチを使って絞りをきかせる		2
6	カトレアの枝物	染料説明 染色の仕方			花びら、葉を1枚ずつ こてで立体的にする。		2
7	なでしこ盆栽	自然に見せる方法			花びら、葉を1枚ずつ こてで立体的にする。		2
8	なでしこ盆栽	コケの置き方			バランスを考え、自然に配置する。		2
9	アートフラワー	糊の作り方 多くの種類の布を使って作成 木綿 ジーンズなど 乾かし方			糊の濃さを調整しつくる。 平らな台、テーブル はけ 手 濡れたタオルを使って貼り付ける。		2
10	アートフラワー 夏の花製作	糊の作り方 多くの種類の布を使って作成 木綿 ジーンズなどの乾かし方			自然にある花を自然に見えるように作成する。		2
11	ガラス器を使った アレンジメント	ガラス器を使った時の土台の作り方と効果的な花材の配しかたを学ぶ			アーティフィシャルフラワーの基本的な扱い方、土台の構成を考える。		2
12	アーティフィシャル スワッグ	つりさげるデザインのバランスのとり方と効果的な花材の配し方を学ぶ			人工的な素材により季節感を演出する。		2
13	アートフラワーとキャンドルを組み合わせ	アーティフィシャルフラワーと異素材の組み合わせによるデザインの幅の広がりを学ぶ。			異素材の組み合わせによるデザインに広がりが出来ることを体験する。		2
14	アーティフィシャルのヘアドレス	ガーランドによる作品の作り方と身に付けるデザインの機能性を学ぶ。			ガーランドの手法の習得 いかに機能的にデザインするか。		2
15	アーティフィシャルのヘアドレス	ガーランドによる作品の作り方と身に付けるデザインの機能性を学ぶ。			ガーランドの手法の習得 いかに機能的にデザインするか。		2
その他							

教科名：ネイチャークラフト（実習）			後期		教科担任：齋藤 美英（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科			コース：		2年	単位数：	2単位
授業のねらい		工具類を使い幅広くハンドクラフトを学び、技術を身に付ける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	30,000円	
テキスト・教材							
評価方法		後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	ラウンドコサージュ①	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得。		2
2	ラウンドコサージュ②	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得		2
3	プチアレンジ	ガラスの器グリーンアレンジ			ガラスの器を使った時のベースカバーと花のマッチング。		2
4	クレセントコサージュ①	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得。		2
5	クレセントコサージュ②	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得。		2
6	プチアレンジ	多肉を使ったフレームアレンジ			フレームの空間を生かしたデザインバランスの習得。		2
7	リストレット	ワイヤリングテクニックを用いたリストレットの制作			正しいワイヤリングメソッドとガーランドテクニックの習得。		2
8	ボードアレンジ	木製の板をベースにした作品			ベースとのマッチングを考えながら制作する。		2
9	プチブーケ	ワイヤリングテクニックを用いたプチブーケの制作			早く正確なワイヤリングテクニックの習得。		2
10	竹を使ったアレンジ	アーティフィシャルと黒竹を組み合わせた作品			黒竹を使うことで高いプロポーションを美しくデザインすることを学ぶ。		2
11	ミツマタのアレンジ	枝を組み合わせるデザイン			ミツマタを使うことで枝の交差によるデザイン力を養う。		2
12	ガーランドブーケ①	ワイヤリングとガーランドの手法を用いたブーケ			早く正確なワイヤリング、ガーランドテクニックの習得。		2
13	ガーランドブーケ②	ワイヤリングとガーランドの手法を用いたブーケ			早く正確なワイヤリング、ガーランドテクニックの習得。		2
14	ベースから作る アレンジ①	土台から制作し花あしらいまでトータルにデザインする			ベースからデザインすることにより、完成した時の花とのバランスまでイメージする力を養う。		2
15	ベースから作る アレンジ②	土台から制作し花あしらいまでトータルにデザインする			ベースからデザインすることにより、完成した時の花とのバランスまでイメージする力を養う。		2
その他							

教科名：ビッグデータマーケティング（講義）			通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）			
学科名：ファッションプロモート科		医薬、医療事務科合同		1年	単位数：	2単位	
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析まで学ぶ。			60H		
目指す検定・資格		目標・なし			教材費		
		取得可能な検定					
テキスト・教材		知識ゼロからのマーケティング入門 広兼憲史著					
		印刷教材 50枚					
評価方法		前期 試験・レポート・課題			その他		
		後期 試験・レポート・課題					
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	マーケティングとは	自分が欲しいものは何？			問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。		2
		なぜ、人は買い物をするのか？					
		ニーズ、ウォンツ、シーズとは					
2	プロモーション戦略	FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る			本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。		2
	①ラジオ	①ラジオCMの特徴と課題の提示					
3		広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			事例を多く聞く		2
		③コピー、SE、ナレーションの構成要素					
		④放送時間					
4		⑤作成			声に出して話す		2
5		⑥ブラッシュアップ					2
6	プロモーション戦略	①ラジオCMとテレビCMの違い					2
	②テレビ	②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る					
7	プロモーション戦略	テレビCM絵コンテ作成					2
	②テレビ						
8	マーケティング	顧客、競合、自社を知る。			戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る		2
	3Cとは						
9	STPとは	ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング			市場と顧客の関係を理解する。		2
10	プロモーション戦略	自身が作ったCMの発表					2
	②テレビ						
11	マーケティングミックス	4P、マーケティングの定義を知る。			売れるための仕組みづくりということを理解する。		2
12	ワークシート	各自進める					2
13	消費者心理について	顧客満足度を高めることの重要性を知る。			売るためには顧客を知る。		2
					購買動機は何か1時間目を振り返りながら知識に結び付ける。		
14	人の欲求の変化	人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。					2
15		AIDMAの法則とは					2
16		時代で変化してきたAISAS SIPPSSなどの最新のウェブ戦略における考え方の基礎			ネット時代の購買行動の変化を知る。		2
17	ライフスタイル	消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。			人が購入するには		2
		イノベーター、オピニオンリーダー、AIO					
18	情報の収集と分析	マーケティングリサーチ			データの種類と収集方法		2
19	ワークシート	各自進める					2

20	自社と競合の分析	市場地位における戦略	競争地位を知り、マネのできない差別化	2
		リーダー、フォロワー、チャレンジャー		
		ニッチヤー		
21	経営資源の配布	PPMと	自分を商品として、就職活動に生かすためには、と身近に考える。	2
22	自社環境分析	SWOT分析	現状を把握し具体的な戦略へ	2
23	ワークシート	各自進める		2
24	製品戦略のポイントは	製品とは「便益の束」	消費者ニーズに合わせた製品を提供しつづけるためにはどのようにしたら良いか考える	2
		製品の分類		
25		製品ラインと製品ミックス	最適な製品の組合わせを考える	2
26		ライフサイクルを知る。	製品にも一生がある	2
		計画的陳腐化	どのように計画していくか	
27	ブランド戦略	ブランドの定義と役割	ブランドの基本戦略	2
28		ナショナルブランドとプライベートブランド	主体はメーカーか流通側か	2
29	パッケージング	パッケージデザインと商品化、新製品の提供までの流れを知る。		2
30	新製品開発	新製品田誕生までのプロセス	開発手順を系統立てる	2
31	ワークシート	各自進める		2
32	価格戦略とは	価格がどのように決められるか		2
33		コストプラス法	コストに利益をプラス	2
34		需要志向と競争志向	値ごろ感と競合会社	2
35		上澄み吸収価格戦略	早めに利益を刈り取る	2
		市場浸透価格戦略	低価格でシェア獲得	
36		製品ミックス、端数価格、威光価格、割引	消費者心理に基づいた価格戦略	2
37	ワークシート	各自進める		2
38	流通チャネル戦略	流通チャネルとは	川上から川下までの流通チャネルを知り、卸、小売店の役割を知る。	2
		流通チャネル政策		
39		垂直的マーケティングシステム	統合されたシステムとして機能	2
40		卸売業者、小売業者の役割	機能と分類	2
41	プロモーション戦略とは	テレビ、ラジオ、ネットの他の戦略を知り、プロモーションミックスを行う。	顧客が買いたくなるような刺激づくりが重要であることを知る。その方法は1つではいけない。	2
42		人的戦略、イベントなどの活用方法など具体的戦略を知る。		2
43	ワークシート①	各自進める	理解を深める	2
44	ワークシート②	各自進める	理解を深める	2
45	ワークシート③	各自進める	理解を深める	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：ガーデニング製図2（実習）			通期		教科担任：山本幹雄（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD		単位数：4単位		
授業のねらい		自然派個性住宅設計での実務経験を活かし、ガーデニングに必要な製図の知識・技術を指導し、製図法に則った図面の作成、課題制作によりガーデニング技法を習得する。			前 期 4H×15W=60H 後 期 4H×15W=60H 合 計 120H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材		やさしい造園図面の描き方 ガーデンデザイン入門 その他プリント等 製図用品					
評価方法		前期： 試験 ・レポート・課題 後期： 試験 ・レポート・課題			その他		
時数	指導内容		指導上の留意点		学習上の留意点		実時数
1	ガーデンデザインとは		ガーデニングの可能性 生活と庭・建物と庭		生活の場としての庭を考える 建築と庭の関係性		8
2	ガーデンデザインの歴史		広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ 空間の意味 スケール意味		生活の場としての庭 街を構成する庭 ヒューマンスケール		8
3	日本庭園史		日本における庭の歴史 日本の庭の意味 代表的な日本庭園		日本の庭の歴史 室町・鎌倉・江戸・近代・現代		8
4	西洋庭園史		西洋各国における庭の歴史 西洋における庭の意味 有名庭園を知る		ヨーロッパの庭、アジアの庭 階級社会と庭 代表的な庭の研究		8
5	ガーデンデザイン基礎		受注から施工まで 平面図・配置図の実際		受注から施工までの流れを学ぶ。施工図を読む		8
6	コンセプト		コンセプト・設計主旨とは プレゼンテーション		設計主旨とは何かを理解する 売れ前テーションの方法論		8
7	デザイン発想の方法		0からは何も生まれない 知識と感性 発想の方法論		デザインをすることとは デザインの方法論		8
8	ゾーニング		配置 人間の動線 流れ 課題		配置のプランニングの方法論 正しい配置とは 人の流れを考える		8
9	空間とスケール		ヒューマンスケール 空間とは 氣勢		使える寸法とは 空間が人間に与える影響 庭の流れ（軸・方向）		8
10	素材・材料		様々なガーデニングに使われる素材の種類と利用方法 コンクリート・木材・塗料等		木材・金属・石材・塗料・配管等を学ぶ		8
11	色彩とデザイン		植物の色・素材の色 色の与える影響 色と塗装 塗装実習		ガーデニングにおける色彩の利用。色彩によるイメージの変化 光の利用		8
12	モチーフとデザイン		形とデザインの関係 配置と人間の行動の関係 作成実習		配置による人の流れ、行動の変化。15センチの影響		8
13	ガーデンデザイン		今までの学習に基づいて庭園図面の作成 作図実習		配置、色、素材に注意し、大まかなデザインを試みる		8
14	植栽図		今までの学習に基づいた植栽図の作成 作図実習		前項の図面に尺再掲を施してみる		8
15	予備				補習授業		8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

教科名：ファッションデザイン1（講義）			前期		教科担任：沼澤 玲菜(実務経験教員)			
学科名：ファッション・プロモート			コース：FS KM			1、2年	単位数：	2単位
授業のねらい		イラストレーターの実務経験を活かし、クリエイティブな感性と想像力の強化を図り魅力的なデザイン画が描けるように指導する。					前 期	2H×15W=30H
							後 期	2H×15W=30H
							合 計	60H
目指す検定・資格		目標					教材費	
		取得可能な検定						
テキスト・教材		ファッションデザインテクニック						
評価方法		前期：課題、授業態度、出席状況を総合して評価する					その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点			実時数
1	ドローイング基礎 1	テーマ好きな物+春			自由に描く			2
2	自己紹介	自己紹介カード作成 発表			自己開示 自己表現 コミュニケーション能力を養う			2
3	似顔絵	ペアになってお互いの似顔絵を描く			相手をよく観察して描く			2
4	スケッチ 1	花のスケッチ			よく観察して描く			2
5	クロッキー 1	3分クロッキー			服のコーディネートや素材を観察			2
6	スケッチ2	スケッチ			よく観察して描く			2
7	クロッキー2	3分クロッキー			素材を観察			2
8	スケッチ 3	スケッチ			よく観察して描く			2
9	クロッキー 3	3分クロッキー			素材を観察			2
10	ドローイング 1	8頭身のプロポーション			コンテスト提出に向けて			2
11	ドローイング2	着装			人体と布の関係 光と影の方向性と素材感の出し方の研究			2
12	ドローイング3	ポーズと着装			ドレープ シワの出し方 その表現方法を試す			2
13	ドローイング4	彩色			絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験			2
14	ドローイング5	彩色			絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験			2
15	ドローイング6	彩色			絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

教科名：ファッションデザイン1（講義）			後期		教科担任：沼澤 玲菜（実務経験教員）				
学科名：ファッション・プロモート			コース：FS KM			1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい		服飾デザイナーの実務経験を活かし、ファッションデザインに必要な基礎を、デザイン画として表現することを通じて学び指導する。さらにクリエイティブな感性と企画力の強化をはかり、実践的なビジネス力を身につけることを目指す。					前 期	2H×15W=30H	
							後 期	2H×15W=30H	
							合 計	60H	
目指す検定・資格		目標 コンテスト					教材費		
		取得可能な検定 ファッションビジネス能力検定試験 3 級							
テキスト・教材		ファッションデザインテクニック							
		ファッションビジネス 1 （3 級準拠）							
		ファッションビジネス能力検定試験 3 級項目別試験問題・解答集							
評価方法		後期： 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する					その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点				実時数
1	アイラム平図 1	作成可能なデザイン画の基礎としてカットソー、ブラウス			製図制作方法の情報がわかるデザイン画作成の方法を基礎から学ぶ。				2
2	アイラム平図 2	シャツ スカート 平面図			アイテムの種類や歴史を調べ描き方のバリエーションを広げる。				2
		アイテム研究							
3	アイラム平図 3	ワンピース 平面図			上下のバランスのとり方を寸法の割り出し方を学ぶ。				2
		アイテム研究							
4	アイラム平図 4	ジャケット スーツ 平面図			伝統的な服作りの情報の代表であるジャケットを学ぶ。				2
		アイテム研究							
5	アイラム平図 5	ジャンパー 平面図			機能性による衣服の変化				2
		アイテム研究			デザインを考慮する。				
6	アイラム平図 6	パンツ コート 平面図			コートの種類や歴史も一緒に学ぶ。				2
		アイテム研究							
7	アイラム平図 7	着色 素材の描き分け			柄 テック 千鳥 ツイード				2
					皮などの素材を描いてみる。				
8	ドローイング5	ポーズと着装の基礎			ポーズをとった時の服の変化				2
9	ドローイング6	ポーズバリエーション			様々なポーズを描いてみる。				2
10	ドローイング7	ポーズバリエーション			様々なポーズを描いてみる。				2
11	ブランド創造 1	イメージ SD法 配色			イメージを表現する2つの配色をする。				2
12	ブランド創造2	配色と形、素材のイメージ			SD法の表上で分析する。さらに形と素材のイメージを分析する。				2
13	ブランド創造3	ブランドを調べる			ブランドのコンセプト、デザイン企画、販売を調べる。				2
14	企画書作成 1	ブランドを創る			企画書の作成				2
					ワークシート企画書を作ってみる。				
15	企画書作成 2	ブランドを創る			ブラッシュアップ				2
					発表				
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す								

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ビッグデータマーケティング（講義）		通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）			
学科名：医薬事務・企業会計科		コース：		1年	単位数：2単位	
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析まで学ぶ。			60H 30W×2H＝60H	
目指す検定・資格		目標・なし 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		知識ゼロからのマーケティング入門 広兼憲史著 印刷教材 50枚				
評価方法		前期 試験・レポート・課題 後期 試験・レポート・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	マーケティングとは	自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは			問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。	2
2	プロモーション戦略 ①ラジオ	FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示			本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。	2
3		広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間			事例を多く聞く	2
4		⑤作成			声に出して話す	2
5		⑥ブラッシュアップ				2
6	プロモーション戦略 ②テレビ	①ラジオCMとテレビCMの違い ②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る				2
7	プロモーション戦略 ②テレビ	テレビCM絵コンテ作成				2
8	マーケティング 3Cとは	顧客、競合、自社を知る。			戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る	2
9	STPとは	ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング			市場と顧客の関係を理解する。	2
10	プロモーション戦略 ②テレビ	自身が作ったCMの発表				2
11	マーケティングミックス	4P、マーケティングの定義を知る。			売れるための仕組みづくり ということを理解する。	2
12	ワークシート	各自進める				2
13	消費者心理について	顧客満足度を高めることの重要性を知る。			売るためには顧客を知る。 購買動機は何か1時間目を振り返りながら知識に結び付ける。	2
14	人の欲求の変化	人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。				2
15		AIDMAの法則とは				2
16		時代で変化してきたAISAS SIPPSなどの最新のウェブ戦略における考え方の基礎			ネット時代の購買行動の変化を知る。	2

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

17	ライフスタイル	消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。 イノベーター、オピニオンリーダー、AIO	人が購入するには	2
18	情報の収集と分析	マーケティングリサーチ	データの種類と収集方法	2
19	ワークシート	各自進める		2
20	自社と競合の分析	市場地位における戦略 リーダー、フォロワー、チャレンジャー ニッチヤー	競争地位を知り、マネのできない差別化	2
21	経営資源の配布	PPMと	自分を商品として、就職活動に生かすためには、と身近に考える。	2
22	自社環境分析	SWOT分析	現状を把握し具体的な戦略へ	2
23	ワークシート	各自進める		2
24	製品戦略のポイントは	製品とは「便益の束」 製品の分類	消費者ニーズに合わせた製品を提供しつづけるためにはどのようにしたら良いか考える	2
25		製品ラインと製品ミックス	最適な製品の組み合わせを考える	2
26		ライフサイクルを知る。 計画的陳腐化	製品にも一生がある どのように計画していくか	2
27	ブランド戦略	ブランドの定義と役割	ブランドの基本戦略	2
28		ナショナルブランドとプライベートブランド	主体はメーカーか流通側か	2
29	パッケージング	パッケージデザインと商品化、新製品の提供までの流れを知る。		2
30	新製品開発	新製品誕生までのプロセス	開発手順を系統立てる	2
31	ワークシート	各自進める		2
32	価格戦略とは	価格がどのように決められるか		2
33		コストプラス法	コストに利益をプラス	2
34		需要志向と競争志向	値ごろ感と競合会社	2
35		上澄み吸収価格戦略 市場浸透価格戦略	早めに利益を刈り取る 低価格でシェア獲得	2
36		製品ミックス、端数価格、威光価格、割引	消費者心理に基づいた価格戦略	2
37	ワークシート	各自進める		2
38	流通チャネル戦略	流通チャネルとは 流通チャネル政策	川上から川下までの流通チャネルを知り、卸、小売店の役割を知る。	2
39		垂直的マーケティングシステム	統合されたシステムとして機能	2
40		卸売業者、小売業者の役割	機能と分類	2
41	プロモーション戦略とは	テレビ、ラジオ、ネットの他の戦略を知り、プロモーションミックスを行う。	顧客が買いたくなるような刺激づくりが重要であることを知る。その方法は1つではいけない。	2
42		人的戦略、イベントなどの活用方法など具体的戦略を知る。		2
43	ワークシート①	各自進める	理解を深める	2
44	ワークシート②	各自進める	理解を深める	2
45	ワークシート③	各自進める	理解を深める	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： マネジメントゲーム（演習）			後 期		教科担任：山口靖晃（実務経験教員）			
学科名：医薬事務・企業会計科 （合同：AI情報システム科、公務員科）			コース：		2年		単位数：1単位	
授業のねらい		経営研究所（コンサルティング研修事業）で勤務経験のある教員が、その経験をいかし、経営に関する指導を行います。社長体験から企業経営の基本を学びます。企業取引による資金調達・決算から、実際の経営を演じることで、その激しい荒波から生き残りの仕方を学びます。経営計画を通し、その重要性が経営のカギであることに気づき自力で作成できるようになります。				前期0H×15W = 0H 後期2H×15W = 30H 合計30H		
目指す検定・資格						教材費		
テキスト・教材		MG教材一式						
評価方法		後期出席率・授業内経営成績				その他		
時数	単元	授業内容（細目）						学習上の留意点
1	オリエンテーション 第1期 ルール説明	会社創造、会社の作り方を学ぶ 資金繰り表の書き方やルール（商法）学ぶ				会社とは何のためにあるかを理解する。2		
2	第1期決算 お金の借り方	決算の仕方、貸借対照表・損益計算書の作り方を学ぶ。借金の仕方について学ぶ。				会社の血である資金と財政を理解し、どう生活に活かされているかを理解する。2		
3	第2期ゲーム	暗中模索の経営。ルールを早く理解する。				ゲームの楽しさを知る。2		
4	第2期決算 株主総会	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ				決算の意味を理解する。2		
5	第3期ゲーム	試行錯誤の経営。ルールを理解し、次の一手を考える。				2期の失敗からどう活かすかを気づく。2		
6	第3期決算	利益重視を理解し、次の経営に結びつける。				計算がなぜ合わないのかを十分理解する。2		
7	株主総会 戦略会計	経営の目を理解し、損益分岐点を理解、どうすれば儲けられるのかを理解する				なぜ悪かったのかどうしてできなかったのかを知る。2		
8	経営計画立案	損益分岐点から経営計画を理解し、投下資本対する獲得利益をシミュレートする				意欲を起こし、次の方策を考える。2		
9	第4期ゲーム	計画経営（1）				2		
10	第4期決算	予実管理、差額比較を行い、行動計画に結びつける。				決算スピードを考える。2		
11	株主総会 経営計画	経営計画を緻密にし、より実践的な予算を立てる。				最終期の資産状況を考慮する。2		
12	ビジネスパワー	自分の癖や不得手を理解し、自己啓発につなげる。				計数力、先見力、状況判断力に注目2		
13	第5期ゲーム	計画経営（2）				活気あるマーケットと飽和するマーケットでどう戦うか。2		
14	第5期決算	戦略経営を身に付け、どう役立てるか考える。				決算スピードを意識チームへの助け2		
15	評価・まとめ	期末評価・マネジメントゲームで何を学ぶかをレクチャー				実務での活用を理解する。2		
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。							

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ヘルスサポート（演習）			後期	教科担任：後藤 美恵（実務経験者）		
学科名：医薬事務・企業会計科			コース：		2年	単位数：1単位
授業のねらい		地域総合型スポーツクラブの運営・指導に携わる教員が、その経験を活かして、心と体の健康について指導する。			前期 後期 合計	0H×15W= 0H 2H×15W=30H 30H
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材						
評価方法		前期：レポート・課題 後期：レポート・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	健康チェック	DIY健康診断を実施し自分を知る			体の仕組みを知る	4
2	心理学	メンタルヘルス 人間学 欲求			解決法	10
3	ストレス	ストレスとは 症状 ストレスチェック			心の健康とは	2
4	骨ストレッチ	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			体の仕組みを知る	2
5	血管・血糖	血管リスク 血栓とは 3代合併症				2
6	パークゴルフ	パークゴルフというスポーツを通して交流を深める			体を動かす	4
7	ウォーキング	有酸素運動の強化			体を動かす	4
8	ロコモティブシンドローム	運動機能障害			ロコモの予防	2
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
その他	上記授業計画の他に、予習・復習（生活での実践）を課すものとする。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実践1（講義）			前期	教科担任：那須晶子（実務経験教員）		
学科名：卒年次生		コース：		2 年	単位数：前期 2単位	
授業のねらい		企業で事務職員として勤務した経験を活かして指導する。1年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけではなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。			前期 2H×15W = 30H 後期 合計 30H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		1年次使用教材 『未来ノート』				
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	2年次の就職活動心構えと行動 春期休業中の就職活動まとめ			就職活動への意欲を高める	2
2	企業研究	インターネット、企業PR誌等を活用し、目指す業界の企業を知る。			未知企業への視野を広げる	2
3	教養講座	教養講座「社会保険：国民年金について」 広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			国民年金制度の理解 自分自身を言葉にする	2
4	メールのマナー 1	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。			適切な使用を理解し実践する。	2
5	メールのマナー 2	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。			適切な使用を理解し実践する。	2
6	電話応対 1	電話の基本マナー			受け手・かけ手の基本マナーを再確認する	2
7	電話応対 2	状況に応じた電話対応			就職活動を想定する。	2
8	就職試験対策 2	文章作成 作文・課題を読んだ意見文			読み手に自分の考えを伝える文書作成を意識する	2
9	就職試験対策 3	面接試験での応答			質問の受けとめ、自分の考えを言葉にする難しさを知る	2
10	就職試験対策 4	常識問題			得意分野の伸ばし、苦手分野を強化する	2
11	就職試験対策 5	自己PRの完成			説得力のある内容に組み立てる	2
12	文書作成	社外文書（内定礼状等）			社外文書様式を知り、礼状作成ができるようになる	2
13	訪問のマナー	一般的な他者訪問			社会生活のマナーとして習得する	2
14	ワーキングアットベンチャー企業研究	事前に企業研究を行い、座談会では受け身ではなく積極的な参加を行う。			自分が知らない企業であっても、大きな出会いとなるチャンスである	2
15	ワーキングアットベンチャー振り返り				企業トップの話から、働くことの意義、喜びを感じ取る	2
その他	7月下旬ワーキングアットベンチャー年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 必要に応じて、オンライン面接・個別面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実践2（講義）			後期	教科担任：那須晶子（実務経験教員）	
学科名：卒年次生		コース：	2 年	単位数：	後期 2単位
授業のねらい		企業で事務職員として勤務した経験を活かして指導する。1年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけではなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。		後期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		1年次使用教材 『未来ノート』			
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	夏期休暇中のまとめ	長期休暇での活動まとめ これからの活動計画立案		未内定の学生は意欲を保持して活動を継続する	2
2	内定期間中の過ごし方	内定の意味を理解し、学校生活・社会生活全般を意識する		卒業までの期間は学生という立場だけでないことを意識する	2
3	職場の人間関係	公的な場で求められる社会ルール、気遣い		個人的関係、公的関係の違いを知る	2
4	電話応対 3	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ 取次		電話機を使うことで緊張感を持つ	2
5	電話応対 4	電話応対の応用 会社への電話 不在時の対応		電話機を使うことで緊張感を持つ	2
6	訪問のマナー 3	アポイントの取り方から訪問		ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
7	訪問のマナー 4	名刺交換 お茶の接待・いただき方		ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
8	訪問のマナー 4	お茶の接待・いただき方 実践		日常ではお茶を煎れる機会が減っているため、全員実践する	2
9	慶弔 1	冠婚葬祭 慶事と弔事		自分の経験を思い出しながら学ぶ	2
10	慶弔 2	冠婚葬祭 慶事と弔事 祝儀袋・不祝儀袋の書き方		筆ペンを使用し作成する	2
11	慶弔 3	冠婚葬祭 会社の季節行事		次年度からを意識する	2
12	教養講座（卒）	1年生に対し就職活動アドバイスを行う		自経験を後輩への適切なアドバイスを行う。	2
13	就職活動交流会	外部講師による労働・社会保険等講話		労働者としての重要な情報を把握する	2
14	文書作成	季節の挨拶状		年賀等の季節の挨拶状	2
15	1年間の総括	今後の社会人生の目標を考える。			2
その他	年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ファイナンシャルプランニング1.2（講義）			通期	教科担任： 山口康晃（実務経験教員）				
学科名：医薬事務・企業会計科			コース：企業会計		2年	単位数：7単位		
授業のねらい			経営研究所で勤務経験のある教員が、その経験をいかし指導する。1年次に学習したF P基礎を土台にして、ファイナンシャルプランニングについてより深く学び、ファイナンシャルプランナー試験合格も目指す。			前期 6H×15W = 90H 後期 8H×15W = 120H 合計 210H		
目指す検定・資格			目標：F P 3 級技能士			教材費		
テキスト・教材			ナツメ社一発合格テキスト・成美堂重要過去問					
評価方法			出席率・期末考査にて評価			その他		
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	ライフプランニングと資金計画		ファイナンシャルプラン理論と法規、考え方及び手法を学ぶ。			原則と倫理をしっかりとさえる。		6
2	ライフプランニングと資金計画		社会保険の種類と概要。年金と税金。ローンと資金計画。			社会保険の基本と年金、ライフプラン上の資金計画学ぶ。		6
3	リスク管理		生保・損保の基本を学ぶ。			リスクにおける保険のあり方をキリンと押さえる。		6
4	リスク管理		保険の掛け金とその保障の範囲を学びそれに関わる税金について学ぶ。			保障の範囲をしっかりと押さえる。		6
5	金融資産運用		景気と金利、物価、為替の関係を理解し、各投資について学ぶ。			各運用の仕方を理解し投資信託の分類を押さえる。		6
6	金融資産運用		広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			投資指数（P E R，P B R）をしっかりと学ぶ。		6
7	タックスプランニング		わが国の税制・各所得と損益通算について。			所得税の基本その計算方法をしっかりと学ぶ		6
8	タックスプランニング		所得控除と納税申告。事業税と住民税。			所得控除項目を学ぶ。事業税、住民税の仕組みを学ぶ		6
9	不動産		不動産の見方・取引・法令・税金等を学ぶ。			不動産登記・公示価格、路線価、評価等を覚える。		6
10	不動産		譲渡やその税金。有効活用と不動産の証券化を学ぶ。			建築基準法、都市計画法や証券化をする意味について学ぶ		6
11	相続・事業継承		贈与税・民法における相続に関する基本事項を学ぶ。			贈与税と相続税とその法律をマスターする。		6
12	相続・事業継承		相続税や相続対策について理解する。			相続資産評価・相続対策について学ぶ。		6
13	学科科目まとめ		問題実施			ライフプラン資金計画、リスク管理についての学科問題を実施		6
14	学科科目まとめ		問題実施			金融資産運用・タックスプラン学科問題実施		6
15	学科科目まとめ		問題実施			不動産、相続事業継承の問題実施		6
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。							

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	実技・ライフプランニングと資金計画	国民年金、老齢基礎年金、雇用保険 支払や受給についての問題を解決する	計算式、用語当を再確認す	8
17	実技・ライフプランニングと資金計画	小規模企業共済、遺族年金の実務に 関する受取範囲の問題を解決する。	学科問題の応用・年金の再確認	8
18	実技・金融資産運用	MMF、N I S A、株式投資に関する事例につ いての問題を解決する。	学科問題の応用・金融商品の	8
19	実技・金融資産運用	債券利回り、株式投資指標について学ぶ。	学科問題の応用・指標を覚える	8
20	実技・タックスプランニング	住宅借入金控除、所得税申告、青色申告に 関する実務レベルの問題を解決する。	学科問題の応用・計算や記入 の仕方をマスター。	8
21	実技・タックスプランニング	配偶者特別控除、医療費控除に関する問題の解 決	学科問題の応用・計算の仕 方をマスター。	8
22	実技・不動産	不動産登記、建築建蔽率、マンション購入、住 宅品質確保保障についての問題を解決	学科問題の応用・登記の方法 住宅建設の基本をマスター。	8
23	実技・不動産	不動産譲渡、賃貸利回り、建設基準に関する問 題の解決	学科問題の応用・資産運用と 住宅の法律を確認。	8
24	実技・相続・事業継承	遺言、死亡保険金、法定相続の問題に関する問 題を解決	学科問題の応用・相続に関す るしっかり学ぶ。	8
25	実技・相続・事業継承	遺産に関する基礎控除、相続税、軽減税額の計 算。	学科問題の応用・税金に関す る申告方法をしっかり学ぶ。	8
26	実技・リスク管理	教育資金、必要保障、老後生活資金、介護保険 等の関連した計算	学科問題の応用・教育保険や 老後保障、介護保険利用を学 ぶ	8
27	実技・リスク管理	終身保険、個人年金、保険料の経理処理、長期 平準定期保険の問題解決	学科問題の応用・生命、損 害、自動車各保険をマス ター。	8
28	実技・資金設計提案	関連事業キャッシュフロー、四季報読取り、個 人バランス、疾病手当等関連事項	学科問題の応用	8
29	模擬試験	過去問題を使用し、理解の確認を行う	時間内に終了させる	8
30	模擬試験	過去問題を使用し、理解の確認を行う	時間内に終了させる	8
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。			

2025年度 授業計画シラバス

教科名：ヘルスサポート（演習）			後期	教科担任：後藤 美恵（実務経験者）		
学科名：医療事務科			コース：		単位数：1単位	
授業のねらい		地域総合型スポーツクラブの運営・指導に携わる教員が、その経験を活かして、心と体の健康について指導する。		前期 後期 合計	0H×15W= 0H 2H×15W=30H 30H	
目指す検定・資格				教材費		
テキスト・教材						
評価方法		ソラスト：医科テキスト1～3／レポート集／医療事務管理士過去問題集 医学通信社：診療点数早見表 ケア&コミュニケーションズ：カルテ例題集 後期：レポート・課題		その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数	
1	健康チェック	DIY健康診断を実施し自分を知る		体の仕組みを知る	4	
2	心理学	メンタルヘルス 人間学 欲求		解決法	10	
3	ストレス	ストレスとは 症状 ストレスチェック		心の健康とは	2	
4	骨ストレッチ	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ		体の仕組みを知る	2	
5	血管・血糖	血管リスク 血栓とは 3代合併症			2	
6	パークゴルフ	パークゴルフというスポーツを通して交流を深める		体を動かす	4	
7	ウォーキング	有酸素運動の強化		体を動かす	4	
8	ロコモティブシンドローム	運動機能障害		ロコモの予防	2	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
その他	上記授業計画の他に、予習・復習（生活での実践）を課すものとする。					

2025年度 授業計画シラバス

教科名：ビッグデータマーケティング（講義）		通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）		
学科名：医療事務科		コース：	1年	単位数：	2単位
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析まで学ぶ。		60H	
目指す検定・資格		目標・なし 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		知識ゼロからのマーケティング入門 広兼憲史著 印刷教材 50枚			
評価方法		前期 試験・レポート・課題 後期 試験・レポート・課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	マーケティングとは	自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは		問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。	2
2	プロモーション戦略 ①ラジオ	FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示		本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。	2
3		広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間		事例を多く聞く	2
4		⑤作成		声に出して話す	2
5		⑥ブラッシュアップ			2
6	プロモーション戦略 ②テレビ	①ラジオCMとテレビCMの違い ②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る			2
7	プロモーション戦略 ②テレビ	テレビCM絵コンテ作成			2
8	マーケティング 3Cとは	顧客、競合、自社を知る。		戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る	2
9	STPとは	ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング		市場と顧客の関係を理解する。	2
10	プロモーション戦略 ②テレビ	自身が作ったCMの発表			2
11	マーケティングミックス	4P、マーケティングの定義を知る。		売れるための仕組みづくり ということを理解する。	2
12	ワークシート	各自進める			2
13	消費者心理について	顧客満足度を高めることの重要性を知る。		売するためには顧客を知る。 購買動機は何か1時間目を振り返りながら知識に結び付ける。	2
14	人の欲求の変化	人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。			2
15		AIDMAの法則とは			2
16		時代で変化してきたAISAS SIPPSSなどの最新のウェブ戦略における考え方の基礎		ネット時代の購買行動の変化を知る。	2

2025年度 授業計画シラバス

17	ライフスタイル	消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。 イノベーター、オピニオンリーダー、AIO	人が購入するには	2
18	情報の収集と分析	マーケティングリサーチ	データの種類と収集方法	2
19	ワークシート	各自進める		2
20	自社と競合の分析	市場地位における戦略 リーダー、フォロワー、チャレンジャー ニッチヤー	競争地位を知り、マネのできない差別化	2
21	経営資源の配布	PPMと	自分を商品として、就職活動に生かすためには、と身近に考える。	2
22	自社環境分析	SWOT分析	現状を把握し具体的な戦略へ	2
23	ワークシート	各自進める		2
24	製品戦略のポイントは	製品とは「便益の束」 製品の分類	消費者ニーズに合わせた製品を提供しつづけるためにはどのようにしたら良いか考える	2
25		製品ラインと製品ミックス	最適な製品の組み合わせを考える	2
26		ライフサイクルを知る。 計画的陳腐化	製品にも一生がある どのように計画していくか	2
27	ブランド戦略	ブランドの定義と役割	ブランドの基本戦略	2
28		ナショナルブランドとプライベートブランド	主体はメーカーか流通側か	2
29	パッケージング	パッケージデザインと商品化、新製品の提供までの流れを知る。		2
30	新製品開発	新製品誕生までのプロセス	開発手順を系統立てる	2
31	ワークシート	各自進める		2
32	価格戦略とは	価格がどのように決められるか		2
33		コストプラス法	コストに利益をプラス	2
34		需要志向と競争志向	値ごろ感と競合会社	2
35		上澄み吸収価格戦略 市場浸透価格戦略	早めに利益を刈り取る 低価格でシェア獲得	2
36		製品ミックス、端数価格、威光価格、割引	消費者心理に基づいた価格戦略	2
37	ワークシート	各自進める		2
38	流通チャネル戦略	流通チャネルとは 流通チャネル政策	川上から川下までの流通チャネルを知り、卸、小売店の役割を知る。	2
39		垂直的マーケティングシステム	統合されたシステムとして機能	2
40		卸売業者、小売業者の役割	機能と分類	2
41	プロモーション戦略とは	テレビ、ラジオ、ネットの他の戦略を知り、プロモーションミックスを行う。	顧客が買いたくなるような刺激づくりが重要であることを知る。その方法は1つではいけない。	2
42		人的戦略、イベントなどの活用方法など具体的戦略を知る。		2
43	ワークシート①	各自進める	理解を深める	2
44	ワークシート②	各自進める	理解を深める	2
45	ワークシート③	各自進める	理解を深める	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名： マネジメントゲーム（演習）			後 期		教科担任：山口靖晃（実務経験教員）			
学科名：公務員科			コース：			1 年	単位数：1単位	
授業のねらい		経営研究所（コンサルティング研修事業）で勤務経験のある教員が、その経験をいかし、経営に関する指導を行います。社長体験から企業経営の基本を学びます。企業取引による資金調達・決算から、実際の経営を演じることで、その激しい荒波から生き残りの仕方を学びます。経営計画を通し、その重要性が経営のカギであることに気づき自力で作成できるようになります。					前期 0H×15W = 0H	
							後期 2H×15W = 30H	
							合計 30H	
目指す検定・資格							教材費	
テキスト・教材		MG教材一式						
評価方法		後期出席率・授業内経営成績					その他	
時数	単元	授業内容（細目）					学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	会社創造、会社の作り方を学ぶ					会社とは何のためにあるかを理解する。	2
	第1期	資金繰り表の書き方やルール（商法）学ぶ						
	ルール説明							
2	第1期決算 お金の借り方	決算の仕方、貸借対照表・損益計算書の作り方を学ぶ。借金の仕方について学ぶ。					会社の血である資金と財政を理解し、どう生活に活かされているかを理解する。	
3	第2期ゲーム	暗中模索の経営。ルールを早く理解する。					ゲームの楽しさを知る。	2
4	第2期決算 株主総会	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ					決算の意味を理解する。	2
5	第3期ゲーム	試行錯誤の経営。ルールを理解し、次の一手を考える。					2期の失敗からどう活かすかを気づく。	2
6	第3期決算	利益重視を理解し、次の経営に結びつける。					計算がなぜ合わないのかを十分理解する。	2
7	株主総会 戦略会計	経営の目を理解し、損益分岐点を理解、どうすれば儲けられるのかを理解する					なぜ悪かったのかどうしてできなかったのかを知る。	2
8	経営計画立案	損益分岐点から経営計画を理解し、投下資本対する獲得利益をシミュレートする					意欲を起こし、次の方策を考える。	2
9	第4期ゲーム	計画経営（1）						2
10	第4期決算	予実管理、差額比較を行い、行動計画に結びつける。					決算スピードを考える。	2
11	株主総会 経営計画	経営計画を緻密にし、より実践的な予算を立てる。					最終期の資産状況を考慮する。	2
12	ビジネスパワー	自分の癖や不得手を理解し、自己啓発につなげる。					計数力、先見力、状況判断力に注目	2
13	第5期ゲーム	計画経営（2）					活気あるマーケットと飽和するマーケットでどう戦うか。	2
14	第5期決算	戦略経営を身に付け、どう役立てるか考える。					決算スピードを意識チームへの助け	2
15	評価・まとめ	期末評価・マネジメントゲームで何を学ぶかをレクチャー					実務での活用を理解する。	2
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。							

教科名： F P 基礎（講義）			後 期	教科担任：山口靖晃（実務経験教員）		
学科名：公務員科			コース：		1年	単位数：1 単位
授業のねらい		経営研究所（コンサルティング研修事業）で勤務経験のある教員が、その経験をいかし、経営に関する指導を行う。ファイナンシャルプランナー（F P）の試験項目に基づいて、生活に必要な基礎知識を学習し、社会活動に活かす狙い。			前期 0H×15W = 0H 後期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格		目標：F P 3 級技能士レベルになる。			教材費	
テキスト・教材		講師にてプリント準備				
評価方法		記述試験及び後期出席率にて評価。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	全体的学習の流れ			身近な税金について理解する。	2
	税金	税金の種類について				
2	所得税とは	所得とは、身近な給与所得、一時所得など所得を実際計算してみる。			所得税の計算方法をしっかり学ぶ	2
3	消費税とは	2 0 1 9 年 1 0 月から変わった消費税法について学ぶ。			消費税の身近さを感じながら学ぶ。	
4	法人税とは	法人税とは、実際にその法事税申告書を作成してみる。			法人税についてその種類につて理解する	2
5	保険の種類（1）	保険の種類とその適用について学習			保険の法律について理解する	2
6	保険の種類（2）	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			詐欺事件や保険に係る犯罪について理解する	2
7	生命保険	生命保険について、第3分野保険について学ぶ			生命保険の種類をしっかり区別する	2
8	損害保険	損害保険・傷害保険、自動車保険について詳しく学ぶ			損害保険の特色と特に自動車保険について理解する。	2
9	貯金・預金	預金の現状と郵貯・農協・リテールバンクについて			いろんな預金の有用性を知る。	2
10	普通預金	普通預金の大事な事項			私生活における流動性は現金より重要なことを理解する。	2
11	定期預金	定期預金の運用方法と総合口座について学ぶ			定期預金の必要性について、理解する。	2
12	当座預金	当座預金の開設方法とその運用について			小切手、手形、掛け取引など預金証明について重要口座について理解する。	2
13	F X 投資ファンド	F X の仕組みとそのやり方について学ぶ			その有用性と危険性について	2
14	株式投資 投資信託	株式投資とは、株式投資信託について学ぶ			経済との関係性について理解する。	2
15	まとめ	生活におけるお金の運用方法と今後について。			F P への受験を目指しより学習を勧める。	2
その他	上記授業計画の他に、予習・復習を課すものとする。					

2025年度 授業計画シラバス

教科名：ヘルスサポート（演習）			後期	教科担任：後藤 美恵（実務経験者）		
学科名：医療事務科			コース：		単位数：1単位	
授業のねらい		地域総合型スポーツクラブの運営・指導に携わる教員が、その経験を活かして、心と体の健康について指導する。			前期 0H×15W= 0H 後期 2H×15W=30H 合計 30H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材						
評価方法		ソラスト：医科テキスト1～3／レポート集／医療事務管理士過去問題集 医学通信社：診療点数早見表 7&コミュニケーションズ：カルテ例題集 後期：レポート・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	健康チェック	DIY健康診断を実施し自分を知る			体の仕組みを知る	4
2	心理学	メンタルヘルス 人間学 欲求			解決法	10
3	ストレス	ストレスとは 症状 ストレスチェック			心の健康とは	2
4	骨ストレッチ	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			体の仕組みを知る	2
5	血管・血糖	血管リスク 血栓とは 3代合併症				2
6	パークゴルフ	パークゴルフというスポーツを通して交流を深める			体を動かす	4
7	ウォーキング	有酸素運動の強化			体を動かす	4
8	ロコモティブシンドローム	運動機能障害			ロコモの予防	2
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
その他	上記授業計画の他に、予習・復習（生活での実践）を課すものとする。					

教科名：マーケティング1（講義）			通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）					
学科名：アロマケアサポート科		コース：		1年		単位数：	2単位		
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析まで学ぶ。				90H			
目指す検定・資格		目標・なし 取得可能な検定				教材費			
テキスト・教材		知識ゼロからのマーケティング入門 広兼憲史著 印刷教材 50枚							
評価方法		前期 試験・レポート・課題 後期 試験・レポート・課題				その他			
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数
1	マーケティングとは		自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは				問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。		2
2	プロモーション戦略 ①ラジオ		FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示				本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。		2
3			広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間				事例を多く聞く		2
4			⑤作成				声に出して話す		2
5			⑥ブラッシュアップ						2
6	プロモーション戦略 ②テレビ		①ラジオCMとテレビCMの違い ②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る						2
7	プロモーション戦略 ②テレビ		テレビCM絵コンテ作成						2
8	マーケティング3Cとは		顧客、競合、自社を知る。				戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る		2
9	STPとは		ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング				市場と顧客の関係を理解する。		2
10	プロモーション戦略 ②テレビ		自身が作ったCMの発表						2
11	マーケティングミックス		4P、マーケティングの定義を知る。				売れるための仕組みづくり ということを理解する。		2
12	ワークシート		各自進める						2
13	消費者心理について		顧客満足度を高めることの重要性を知る。				売るためには顧客を知る。 購買動機は何か1時間目を振り返りながら知識に結び付ける。		2
14	人の欲求の変化		人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。						2
15			A I DMAの法則とは						2
16			時代で変化してきたAISAS SIPPSなどの最新のウェブ戦略における考え方の基礎				ネット時代の購買行動の変化を知る。		2
17	ライフスタイル		消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。 イノベーター、オピニオンリーダー、AI0				人が購入するには		2
18	情報の収集と分析		マーケティングリサーチ				データの種類と収集方法		2
19	ワークシート		各自進める						2
20	自社と競合の分析		市場地位における戦略 リーダー、フォロワー、チャレンジャー				競争地位を知り、マネのできない差別化		2

		ニッチヤー		
21	経営資源の配布	PPMと	自分を商品として、就職活動に生かすためには、と身近に考える。	2
22	自社環境分析	SWOT分析	現状を把握し具体的な戦略へ	2
23	ワークシート	各自進める		2
24	製品戦略のポイントは	製品とは「便益の束」 製品の分類	消費者ニーズに合わせた製品を提供しつづけるためにはどのようにしたら良いか考える	2
25		製品ラインと製品ミックス	最適な製品の組合わせを考える	2
26		ライフサイクルを知る。 計画的陳腐化	製品にも一生がある どのように計画していくか	2
27	ブランド戦略	ブランドの定義と役割	ブランドの基本戦略	2
28		ナショナルブランドとプライベートブランド	主体はメーカーか流通側か	2
29	パッケージング	パッケージデザインと商品化、新製品の提供までの流れを知る。		2
30	新製品開発	新製品田誕生までのプロセス	開発手順を系統立てる	2
31	ワークシート	各自進める		2
32	価格戦略とは	価格がどのように決められるか		2
33		コストプラス法	コストに利益をプラス	2
34		需要志向と競争志向	値ごろ感と競合会社	2
35		上澄み吸収価格戦略 市場浸透価格戦略	早めに利益を刈り取る 低価格でシェア獲得	2
36		製品ミックス、端数価格、威光価格、割引	消費者心理に基づいた価格戦略	2
37	ワークシート	各自進める		2
38	流通チャネル戦略	流通チャネルとは 流通チャネル政策	川上から川下までの流通チャネルを知り、卸、小売店の役割を知る。	2
39		垂直的マーケティングシステム	統合されたシステムとして機能	2
40		卸売業者、小売業者の役割	機能と分類	2
41	プロモーション戦略とは	テレビ、ラジオ、ネットの他の戦略を知り、プロモーションミックスを行う。	顧客が買いたくなるような刺激づくりが重要であることを知る。その方法は1つではないけない。	2
42		人的戦略、イベントなどの活用方法など具体的戦略を知る。		2
43	ワークシート①	各自進める	理解を深める	2
44	ワークシート②	各自進める	理解を深める	2
45	ワークシート③	各自進める	理解を深める	2
その他				

教科名：パソコン実習 1（実習）		通期	教科担任：梅津 隆雄（実務経験教員）		
学科名：アロマケアサポート科		コース：	1年	単位数：3 単位	
授業のねらい		情報系で実務経験のある指導者の下、機能をひとつずつ理解し、機能を実行するための操作方法を習得する。MO S 試験検定取得を目標とする。		9 0 H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 MO S 試験検定		教材費	
テキスト・教材		よくわかるマスターWord 2019 Expert 対策テキスト&問題集 印刷教材			
評価方法		試験 課題により評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	文書の表示と管理	文章のズームや分割 ウインドウに文章を表示する 整列		文章をさまざまな方法で保護、管理、保存できるようにする。	4
2	文書の表示と管理	文章のズームや分割 ウインドウに文章を表示する 整列		文章をさまざまな方法で保護、管理、保存できるようにする。	4
3	文書の表示と管理	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ 電子メールで文章を送信する		文章をさまざまな方法で保護、管理、保存できるようにする。	4
4	書式設定	フォトと段落 文章の移動		表の作成、表を操作できるようにする。さまざまな書式設定ができるようにする。	4
5	書式設定	フォトと段落 文章の移動		表の作成、表を操作できるようにする。さまざまな書式設定ができるようにする。	4
6	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔		表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
7	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔		表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
8	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔		表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
9	書式設定	表作成 インデント タブの設定 行間隔		表の作成、文字を表に転換する。文書内の表を操作できるようにする。	4
10	書式設定	箇条書き 段落番号		箇条書きを設定し、文書の内容を整理できるようにする。	4
11	書式設定	箇条書き 段落番号		箇条書きを設定し、文書の内容を整理できるようにする。	4
12	練習問題	練習問題を解く		理解を確認する。	4
13	練習問題	練習問題を解く		理解を確認する。	4
14	練習問題	練習問題を解く		理解を確認する。	4
15	練習問題	練習問題を解く		理解を確認する。	4
その他					

教科名： パソコン実習 2 （実習）			通期	教科担任： 梅津隆雄（実務経験教員）		
学科名：アロマケアサポート科			コース：	2年	単位数： 2 単位	
授業のねらい		情報系で実務経験のある指導の下、パソコンの基本操作を習得する。 コンピュータを使いこなすためのリテラシーを習得し、MO S の学習に取り組み検定取得を目的とする。			6 0 H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 MO S 試験			教材費	
テキスト・教材		よくわかるマスターWord 2019 Expert 対策テキスト&問題集 印刷教材				
評価方法		レポート・検定試験状況により評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	レイアウト	ページのレイアウトをする。			背景の色を設定し背景にグラデーションなど書式を設定できるようにする。	4
2	レイアウト	ページのレイアウトをする。 ページの背景			文章の背景に図を透かして表示できるようにする。テキストボックスの挿入。	4
3	レイアウト	ページのレイアウトをする。			罫線を設定し、 挿入 削除を行う。	4
4	レイアウト	広告に用いられるフォントの使用意図と効果を学ぶ			日付や時刻を挿入できるようにする。ヘッダーやフッターの編集、削除。	4
5	資料作成①	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
6	資料作成②	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
7	図や画像の挿入	図 サイズ アート トリミング			撮影した写真やイメージスキャナーで取り込んだイラストや画像を文章に挿入できるようにする。	4
8	図や画像の挿入	図 サイズ アート トリミング			図形 ワードアートを挿入する。	4
9	図や画像の挿入	グラフィックサイズ グラフィック移動			デザイン性の高い図解を学ぶ。	4
10	資料作成③	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
11	資料作成④	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
12	資料作成⑤	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
13	資料作成⑥	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
14	資料作成⑦	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
15	資料作成⑧	練習問題を作成する			学習した内容確認のため練習問題を繰り返し解く。	4
その他						